

試合番号 : 301		試合会場 : SAGAアリーナ				観客数 : 7,372						
開始時間 : 13:05		終了時間 : 15:41		試合時間 : 02:36		主審 : 林 淳一		副審 : 佐々木 伸子				
久光スプリングス		通算	1勝	0敗	25	第1セット	27	埼玉上尾メディックス				
		ポイント:	3					通算	0勝			
								ポイント:	0			
監督コメント	鳥栖に拠点を移して、初めてのSAGAアリーナでホームゲーム。今日は歴史的な日になるということで、とにかく勝ってサポーターに喜んでもらいたいです。感謝の気持ちを伝えようと意気込んで試合に臨んだ。相手が粘り負けしないことをどんな場面でも言い続けた結果、選手たちが素晴らしいパフォーマンスを出してくれた。				3	26	第2セット	24	1	監督コメント	いよいよ今シーズンが始まりました。SAGAアリーナで沢山のバレーボールファンの皆様の前でプレーできた事を嬉しく思います。悔しい結果となりましたが、随所にメディックスらしい粘り強いバレーボールをみせてくれた選手達を誇りに思います。今シーズンも一丸となってバレーボール愛をお届けします。引き続きご声援宜しくお願いします。	
						27	第3セット	25				
						25	第4セット	22				
							第5セット					
要約レポート												
第1セット、久光スプリングス、埼玉上尾メディックスともに主導権を譲らず、序盤から均衡した展開が続く。終盤、埼玉上尾ロソ、久光・長岡の激しい打ち合いが見られ、デュースにもつれる。最後は仁井田のスパイクが決まり埼玉上尾がセットを先取した。第2セット、久光・西村、埼玉上尾・山岸を中心とした両チームの守備が機能し、終盤まで一進一退の展開が続く。最後は久光・深澤が連続でスパイクを決め、セットを奪取した。第3セット、久光がアダムスや大竹のブロックポイントでリードを奪う。中盤、埼玉上尾は佐藤、ロソのスパイクで逆転するが、終盤久光アダムスがスパイクを次々に決めて同点に追いつくと、最後はアダムスがサービスエースを決めて久光がセットを奪取した。第4セット、埼玉上尾はロソのバックアタックなどで一歩リードするが、久光は吉武の活躍で中盤に逆転。終盤、花井の好レシーブから深澤がスパイクを決めると流れは一気に久光に。久光がそのままセットを奪取し、SAGAアリーナでの開幕戦を勝利で飾った。												

試合番号 : 302		試合会場 : SAGAアリーナ				観客数 : 7,372						
開始時間 : 16:45		終了時間 : 18:19		試合時間 : 01:34		主審 : 江口 祐一郎		副審 : 富田 博一				
JTマーヴェラス		通算	1勝	0敗	25	第1セット	21	トヨタ車体クインシーズ				
		ポイント:	3					通算	0勝			
								ポイント:	0			
監督コメント	今年も開幕戦を迎えられることができたことに感謝いたします。本日よりリーグが始まり、まずは自分たちが目指すバレーボールを体現しようと臨んだ試合でした。開幕戦の独特な緊張感の中、試合のスタートは硬さが見られたが、途中に出た選手の活躍もあり、最後は自分たちのリズムで戦うことができました。サイドアウトの部分でしっかりと取り切れていた事が良かったと思います。今日の反省点を整理して、明日の試合も最高の準備をして全員で戦っていきたく思います。明日も応援よろしくお祈りいたします。				3	29	第2セット	27	0	監督コメント	開幕戦で、SAGAアリーナという素晴らしい環境で迎えられる、感謝申し上げます。ストレートで負けたものの、1、2セット目は20点以降まで食い下がったが、あと一歩及ばなかった。今日戦った中で相手チームから学ぶことがたくさんあり、明日のゲームにしっかりと繋げ、気持ちを切り替えて戦いたいです。本日にも応援ありがとうございます。引き続き明日も宜しくお願いします。	
						25	第3セット	14				
							第4セット					
							第5セット					
要約レポート												
第1セットは序盤からJTマーヴェラス、トヨタ車体クインシーズ共に一歩も譲らない展開だったが、JTは途中出場の西川が技ありのスパイクを連続で決めリードした。終盤にトヨタ車体は大川の活躍により同点に追いつくも、最後はJTドルーズが2点連続でサービスエースを決め、JTが第1セットを先取した。第2セット、序盤にトヨタ車体はファンヘッケ、鍋谷の活躍によりリードを奪うが、中盤にJTは林のブロックやスパイクが光り同点に追いついた。デュースにもつれ込む接戦だったが最後はJTドルーズのブロックポイントでJTがセットを奪取した。第3セット、序盤からJTはドルーズ、林の勢いが止まらず会場を湧かせる。トヨタ車体も鍋谷、ファンヘッケのスパイクで応戦したが、JTはサンティアゴのブロックポイントでさらにリードを広げる。JTは終盤まで主導権を渡さずゲームを進め、最後は田中がサービスエースを決め、JTがストレートで勝利した。												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	-勝	-敗		第1セット				
		ポイント:	-	-				通算	-勝	
								ポイント:	-	
監督コメント						第2セット				
						第3セット				
						第4セット				
						第5セット				
要約レポート										

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :				
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		副審 :		
		通算	-勝	-敗		第1セット				
		ポイント:	-	-				通算	-勝	
								ポイント:	-	
監督コメント						第2セット				
						第3セット				
						第4セット				
						第5セット				
要約レポート										